

【別紙】

(1) 地域別の状況

但馬3市2町のうち、豊岡市、朝来市及び新温泉町では、前年度を上回ったものの、養父市及び香美町では前年度を下回り、但馬地域全体として前年度より2千人減となった。(単位：千人)

項目 \ 地域	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町	但馬
令和5年度	3,093	920	1,898	1,124	968	8,003
令和4年度	3,078	967	1,882	1,143	935	8,005
増減数	15	▲47	16	▲19	33	▲2
増減率	0.5%	▲4.9%	0.9%	▲1.7%	3.5%	▲0.02%

(2) 日帰り・宿泊別の入込状況

日帰り客は、6,310千人(前年度比▲0.9%)と55千人減少したものの、宿泊客は、1,694千人(同+3.3%)と54千人増加した。特に新温泉町の総入込数は4年ぶりの開催となった浜坂みなとほたるいか祭りなど、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、行動制限が緩和されたことなどが影響し、33千人(同+3.5%)増加した。(単位：千人)

区分	令和5年度		令和4年度		増減数	増減率	
	入込客数	全体比	入込客数	全体比			
但馬	総入込数	8,003	100.0%	8,005	100.0%	▲2	▲0.02%
	日帰り客	6,310	78.8%	6,365	79.5%	▲55	▲0.9%
	宿泊客	1,694	21.2%	1,640	20.5%	54	3.3%
豊岡市	総入込数	3,093	100.0%	3,078	100.0%	15	0.5%
	日帰り客	2,164	70.0%	2,161	70.2%	3	0.1%
	宿泊客	929	30.0%	917	29.8%	12	1.3%
養父市	総入込数	920	100.0%	967	100.0%	▲47	▲4.9%
	日帰り客	751	81.6%	816	84.4%	▲65	▲8.0%
	宿泊客	169	18.4%	151	15.6%	18	11.9%
朝来市	総入込数	1,898	100.0%	1,882	100.0%	16	0.9%
	日帰り客	1,770	93.3%	1,777	94.4%	▲7	▲0.4%
	宿泊客	128	6.7%	105	5.6%	23	21.9%
香美町	総入込数	1,124	100.0%	1,143	100.0%	▲19	▲1.7%
	日帰り客	867	77.1%	878	76.8%	▲11	▲1.3%
	宿泊客	257	22.9%	265	23.2%	▲8	▲3.0%
新温泉町	総入込数	968	100.0%	935	100.0%	33	3.5%
	日帰り客	758	78.2%	733	78.4%	25	3.4%
	宿泊客	211	21.8%	202	21.6%	9	4.5%

※端数処理のため、資料中の表の内訳と合計は必ずしも一致しません。

(3) 目的別の入込状況

令和5年度のスポーツ・レクリエーションを目的とする入込客数は1,366千人(前年度比▲9.1%)と136千人減少した。これは夏期の台風による海水浴場の遊泳禁止措置や暖冬によるスキー場一時営業休止等の影響によるものと考えられる。また、行祭事・イ

ベント部門の入込客数は前年度と比べ109千人(+29.8%)増加している。これは、令和5年5月からコロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことに伴い、行動制限が緩和されたことなどが影響しているものと考えられる。

(単位：千人)

目的	年度	令和5年度		令和4年度		増減	増減率
		入込客数	全体比	入込客数	全体比		
総入込客数		8,003	100.0%	8,005	100.0%	▲2	▲0.02%
自然		364	4.5%	358	4.5%	6	1.7%
歴史・文化		1,942	24.3%	1,882	23.5%	60	3.2%
温泉・健康		1,889	23.6%	1,852	23.1%	37	2.0%
スポーツ・レクリエーション		1,366	17.1%	1,502	18.8%	▲136	▲9.1%
都市型観光		306	3.8%	290	3.6%	16	5.5%
その他(道の駅等)		1,653	20.7%	1,747	21.8%	▲94	▲5.4%
行祭事・イベント		483	6.0%	374	4.7%	109	29.1%

(単位：千人)

区分	但馬	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
総入込客数	8,003	3,093	920	1,898	1,124	968
自然	364	179	30	82	73	0
歴史・文化	1,942	1,004	39	485	345	69
温泉・健康	1,889	1,055	152	135	75	472
スポーツ・レクリエーション	1,366	475	309	202	175	205
都市型観光	306	135	0	0	152	19
その他(道の駅等)	1,653	49	383	892	224	105
行祭事・イベント	483	196	7	102	80	98

(4) 季節別の入込状況

令和5年度の春期から秋期にかけての季節ごとの入込客数はいずれも増加しており、それぞれ1,847千人、2,362千人、2,036千人となった一方、冬期の入込客数は1,758千人で、前年度から173千人(▲9.0%)減少した。これは暖冬で雪不足の影響によりスキー場入込客数が減少したことなどが考えられる。

(単位：千人)

四季	年度	令和5年度入込客数		令和4年度入込客数		増減数	増減率
		入込客数	全体比	入込客数	全体比		
総入込客数		8,003	100.0%	8,005	100.0%	▲2	▲0.02%
春(4月～6月)		1,847	23.1%	1,781	22.2%	66	3.7%
夏(7月～9月)		2,362	29.5%	2,301	28.7%	61	2.7%
秋(10月～12月)		2,036	25.4%	1,992	24.9%	44	2.2%
冬(1月～3月)		1,758	22.0%	1,931	24.1%	▲173	▲9.0%

(単位：千人)

区分	但馬	豊岡市	養父市	朝来市	香美町	新温泉町
総入込客数	8,003	3,093	920	1,898	1,124	968
春(4月～6月)	1,847	710	233	452	206	246
夏(7月～9月)	2,362	1,018	242	504	311	287
秋(10月～12月)	2,036	733	212	605	256	230
冬(1月～3月)	1,758	632	233	337	351	205

(5) 主な観光拠点の入込客数

全体的な入込客数の傾向をみると、城崎温泉等の温泉地では増加しており、ハチ北高原等のスキー場では天候に影響を受けたと見られる観光地では減少している。

(単位：千人)

観光地名	所在地	入込数		増減数	増減率
		令和5年度	令和4年度		
城崎温泉 (外湯めぐり)	豊岡市	776	722	54	7.5%
湯村温泉 (外湯を含む)	新温泉町	323	321	2	0.6%
余部橋梁	香美町	257	256	1	0.4%
出石町内鑑賞	豊岡市	213	214	▲ 1	▲ 0.5%
竹田城下町 (旧木村酒造場EN)	朝来市	184	147	37	25.2%
神鍋高原 (ゴルフ・テニス)	豊岡市	175	176	▲ 1	▲ 0.6%
但馬牧場公園	新温泉町	158	157	1	0.6%
浜坂・七釜温泉 (4施設)	新温泉町	149	140	9	6.4%
竹田城跡	朝来市	120	114	6	5.3%
但東シルク温泉	豊岡市	115	108	7	6.5%
ハチ北高原・スカイパレイ (スキー場)	香美町	94	142	▲ 48	▲ 33.8%
但馬楽座	養父市	86	89	▲ 3	▲ 3.4%
よふど温泉	朝来市	84	80	4	5.0%
氷ノ山・ハチ高原・東 鉢伏(スキー場)	養父市	52	112	▲ 60	▲ 53.6%
神鍋高原 (スキー場)	豊岡市	31	84	▲ 53	▲ 63.1%

【但馬地域観光客入込状況】

年		入込数（千人）		宿泊客（千人）		
		人数	前年比	人数	前年比	入込数に 対する割合
S60	1985	7,606		3,103		40.8%
S61	1986	7,565	99.5%	3,164	102.0%	41.8%
S62	1987	7,612	100.6%	3,096	97.9%	40.7%
S63	1988	7,349	96.5%	3,095	100.0%	42.1%
H1	1989	8,229	112.0%	3,234	104.5%	39.3%
H2	1990	8,941	108.7%	3,521	108.9%	39.4%
H3	1991	9,312	104.1%	3,622	102.9%	38.9%
H4	1992	9,372	100.6%	3,382	93.4%	36.1%
H5	1993	9,508	101.5%	3,239	95.8%	34.1%
H6	1994	13,103	137.8%	4,009	123.8%	30.6%
H7	1995	11,483	87.6%	3,245	80.9%	28.3%
H8	1996	10,826	94.3%	3,031	93.4%	28.0%
H9	1997	10,121	93.5%	2,800	92.4%	27.7%
H10	1998	10,002	98.8%	2,670	95.4%	26.7%
H11	1999	9,927	99.3%	2,641	98.9%	26.6%
H12	2000	10,446	105.2%	2,654	100.5%	25.4%
H13	2001	10,037	96.1%	2,551	96.1%	25.4%
H14	2002	9,986	99.5%	2,423	95.0%	24.3%
H15	2003	9,932	99.5%	2,386	98.5%	24.0%
H16	2004	9,593	96.6%	2,326	97.5%	24.2%
H17	2005	9,960	103.8%	2,309	99.3%	23.2%
H18	2006	10,131	101.7%	2,291	99.2%	22.6%
H19	2007	9,982	98.5%	2,222	97.0%	22.3%
H20	2008	9,544	95.6%	2,114	95.1%	22.2%
H21	2009	9,307	97.5%	2,030	96.0%	21.8%
H22	2010	8,339	89.6%	1,928	95.0%	22.1%
H23	2011	8,361	100.3%	1,852	96.1%	22.2%
H24	2012	9,993	119.5%	1,936	104.5%	19.4%
H25	2013	10,635	106.4%	2,031	104.9%	19.1%
H26	2014	10,762	101.2%	2,130	104.9%	19.8%
H27	2015	10,331	96.0%	2,062	96.8%	20.0%
H28	2016	10,118	97.9%	2,071	100.4%	20.5%
H29	2017	10,094	99.8%	2,064	99.7%	20.4%
H30	2018	9,888	98.0%	2,002	97.0%	20.2%
R1	2019	9,409	95.1%	1,920	95.9%	20.4%
R2	2020	5,779	61.4%	1,061	55.3%	18.4%
R3	2021	6,056	104.8%	1,154	108.8%	19.1%
R4	2022	8,005	132.2%	1,640	154.6%	20.5%
R5	2023	8,003	99.9%	1,694	103.3%	21.2%